

取扱説明書

エア・スクレーラー 品番：# 3 6 5 7 1 型式：5 4 5 4 8 8

1, 使用方法

- ①本機とコンプレッサーの間に、エアフィルター・レギュレーター・エアブリケータ（3点セット）を取り付けて下さい。
- ②1, バックヘッドに、ゴムホースを取り付け、クイックカブラを取り付けて下さい。直接、1, バックヘッドにクイックカブラを取り付けると振動によりカブラが外れ、ケガを負う恐れがあります。
- ③使用前に、ゴムホース先端のカブラ部より、タービン（スピンドル）油（# 6 0）を数滴注油して下さい。
- ④本セットは、初めにニードルが組み付けられています。1 5, チゼルを使用する場合は、コンプレッサーから本機を取り外し、3, 部品分解図を参考に、1 9, ニードルチューブを反時計回転方向に回して、1 2, バレルスリーブから取り外し、1 4, ニードルドライバー、1 6, ニードルセット、1 7, ニードルホルダー、1 8, スプリングを取り外して下さい。
- ⑤2 0, ナットに、1 5, チゼル、4, スプリングをセットし、2 0, ナットを時計回転方向に回して、1 2, バレルスリーブに固定して下さい。
- ⑥1 6, ニードルセットに戻す場合は、3, 部品分解図を参考に、④⑤と逆の手順で組み立てて下さい。
- ⑦7, レバーを押すと、1 5, チゼル、又は1 6, ニードルセットが作動します。チゼル、ニードルの動きの速さは7, レバーを押し込む度合いによって変化します。
- ⑧必要以上に、力を掛け、対象物に押し当てても、能率は上がりません。又、チゼル、ニードルの寿命が短くなります。
- ⑨使用後は、ゴムホース先端のカブラ部より、タービン（スピンドル）油（# 6 0）を数滴注油して、約2～3秒程度空運転して下さい。オイル注油を怠ると、本機内部に錆が発生し、故障の原因になります。

2, 注意事項

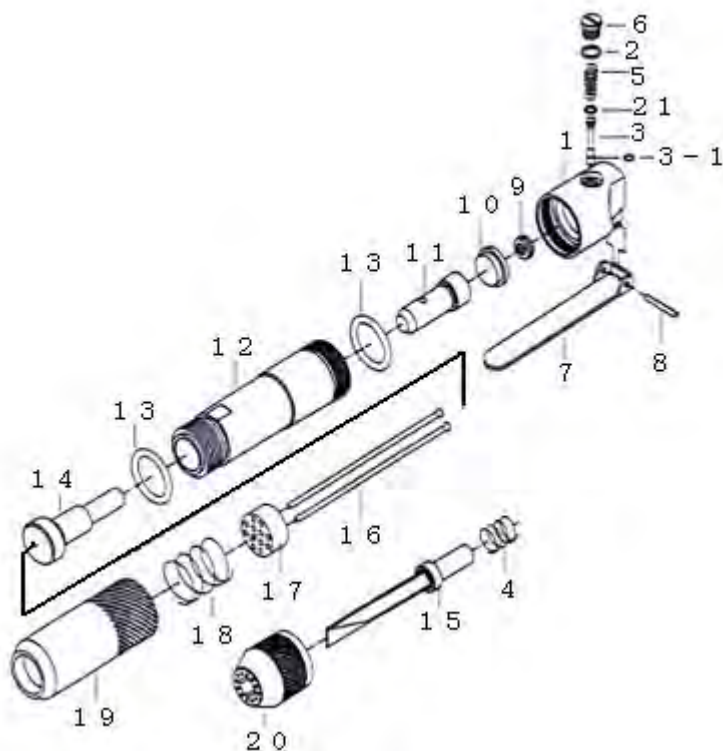
△警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）

- ① **588kPa（6kg/cm²）以上の空気圧**で、本機を使用しないで下さい。
- ②未使用時やチゼル、ニードルを交換する時は、必ず**本機への空気の供給を止めて、本機をコンプレッサーから外して**下さい。
- ③本機にチゼル、ニードルを付けた状態で、人に向けての使用はしないで下さい。
- ④本機への注油に、ガソリン、灯油等の可燃性物質を使用しないで下さい。
- ⑤7, レバーを故意にロックさせて使用しないで下さい。
- ⑥1 5, チゼル、1 6, ニードルセット、本体にひび割れ等の異常が見受けられた際は、直ちに使用を中止して下さい。
- ⑦可燃性物質のある場所では、使用しないで下さい。
- ⑧1 9, ニードルチューブ、又は2 0, ナットと1 2, バレルスリーブの**締結は確実**に行なって下さい。
- ⑨絶対に、1 5, チゼル、1 6, ニードルセットを付けた状態で**空運転をしない**で下さい。事故、及び本機破損の原因になります。

△注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

- ①本機に破損箇所がある場合、ソケット、ゴムホースの破損、異常がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ②作業に適した服装、保護眼鏡、マスク、耳栓等を着用して作業を行って下さい。
- ③作業場所は常に整理して、作業関係者以外は、作業する場所に近付けないで下さい。
- ④本機は、コンクリート等を掘削、軟鋼板を切断する工具です。その他の用途には使用しないで下さい。
- ⑤高所での作業は、**下に人がいない事を確認して**から行って下さい。
- ⑥本機は、ドラム缶の切断には使用出来ません。
- ⑦本機の分解、修理、改造はしないで下さい。
- ⑧使用中や使用後直ぐに、1 5, チゼル、1 6, ニードルセット、掘削物、切断面には手を触れないで下さい。

3, 部品分解図



品番	部品名称
1	バックヘッド
2	Oリング
3	スロットバルブ
3-1	Oリング
4	スプリング
5	スプリング
6	バルブキャップ
7	レバー
8	ピン
9	ラバークッション
10	バルブブロック
11	ピストン
12	バレルスリーブ
13	Oリング
14	ニードルドライバー
15	チゼル
16	ニードルセット (12本)
17	ニードルホルダー
18	スプリング
19	ニードルチューブ
20	ナット
21	Oリング